ライフラリーサポーター

ライスラリーサポーターは図書館のお仕事のお手伝いや、オリジナルの企画や展示などを行う学生さんたちです。今回は、そんなサポーターさんから200書評を寄稿いただいたので紹介します!



サポータに ついてより詳しく はコチラ!

200字書評

「女生徒」

著:太宰治

大宮所蔵 請求記号:913.6回 資料D:91170331 配祭場所:工大4F文庫本



「あさ、眼をさますときの気持は、面白い。(中略)押入れから出て来て、急にむかむか腹立たしく、あの感じ、いや、ちかう、」「人間失格」「走れメロス」で有名な太宰治の作品です。
14歳の少女の1日が描かれただけの短編小説。
しかしそこには思春期特有の厭世観や、自身の心とは裏腹に勝手に年を取り成長することへの意醸が詰まっています。
太宰特有の文学表現も多く、文学「らしさ」が凝縮されています。
美しい日本語と共にどうぞ。